

| | | | |
|----------------|-------------------|---------|-------|
| バス停タイムス | 2013 年 7 月 3 日 | | No.12 |
| | 発行者 | 成 田 隆 浩 | |
| | 編集者 | 教 宣 部 | |
| | J R 東海労働組合新幹線地方本部 | | |

社員の声に耳を！ SMT本社と団体交渉開催！

J R 東海労新幹線地本は 6 月 2 8 日、出向先会社の労働条件改善要求について SMT 本社と団体交渉を開催しました。特に、職場の環境改善、退職する社員が多く発生している問題解決、年休が入らないことから要員確保を強く迫りました。

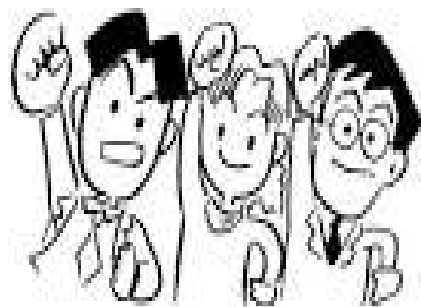
社員の体調管理に万全を期すべきだ！

3 月 1 6 日のダイヤ改正を契機に作業の複雑さや設備・作業環境の悪化もあり、ストレスが原因で体調を崩す社員が発生しています。私たちは SMT にこの現状をどう認識しているか問いました。回答は「不慣れなため戸惑もあったかもしれないが、徐々に定着していると考えている」「体調不良は一部の社員で、組織体制の見直しが原因とは考えていない」というものでした。

私たちは「社員の体調を考え、職場環境を変える努力をするべき」と迫り、そして「よりよいものにしたいと考えている」という回答を得ました。

退職する社員が多く発生している状況を変えるべきだ！

昨年末から、現在までの短期間で多くの社員が退職するという状況が続いています。私たちは、SMT にこの状況についての認識を問いました。回答は「社員の退職事由は様々であるが、労働条件に問題があるとは考えていないはない」というものでした。



私たちは「退職する社員が多いという認識はあるのか」「準社員が多いのではないか」「現場社員の声に耳を傾け、労働条件の改善に力を入れるべきだ」と強く迫り「退職者が多いという認識はある」「労働条件を良くすることは検討していく」ということを確認しました。

年休を取得できる要員の確保を！

短期間に大勢の社員が退職したことで、数カ月年休の抑制が続いています。私たちは年休を取得できる要員確保を迫りました。回答は「業務に必要な要員は当社が責任をもって確保している」「4、5月は一人1日は取得できている」というものでした。

私たちは「年休取得は退職する社員が多いことにも関連する」「社員の体調管理も含め年休を取得できる要員確保」を強く要求しました。

詰所や点呼スペースの拡大を！

ダイヤ改正以降事業所が統合され、ロッカー、点呼場、詰所が狭い。洋式トイレも不足するという状況があります。私たちは、ゆとりのある作業環境を求めました。回答は「現状で対処されたい。なおトイレの洋式化に対しては、関係各所の要望を受け対処することになっている」というものでした。

私たちは「SMTビルを活用し、ゆとりある環境にするべきだ」「レイアウトの変更などをして、点呼場などを広くするべきだ」また「風呂場の衛生状態が悪く改善するべき」と強く主張し、「要望はしっかり聞いておく」という回答を得ました。

おかしいことはおかしいとさらに声をだそう！

他にも夏場の暑さ対策でデッキのスポットクーラーの増設を要求し、検討していくという回答を得ました。また、通勤バスダイヤの新設、増便も強く要求しました。勤務表のコピーは団体交渉前に解決しているとなっています。皆さんを含め私たちがおかしいことはおかしいと、声を出した結果です。

団体交渉の最後に「私たち自身の労働条件を向上させるということは当然だが、一緒に働く関連会社の方々の労働条件を向上させるということは必要だと思うので、社員に還元できるような契約をしっかりとしてほしい」「社員の方々は、誇りを持って綺麗な電車をつくり上げている。そのことに対して使命感を持ってやっている。しかし、そこに会社がしっかりと応えているのかという

ことがある。SMTには『ありがとうの種まき』という言葉があるが、本当に社員に対してそうになっているのかという声がある。是非、そのところを受け止めて頂きたい」と強く主張しました。

J R、S M T、S E K共に職場には多くの問題が山積しています。今回の交渉で一定の前進はありましたが、問題解決のため、さらに声をだしていきたいと思います！

